

吉田



吉田地区センター（4月23日）

問 バイオマス発電から出る温水を農業利用すると聞いたが、農業就労者が高齢化で心配。

答 熱利用は初期投資もかなり大きく、難しい。排出された熱を利用する際、業者に贈与税がかかるという問題もある。全国的にも例が少ないため、時間を十分につけて研究する。

問 えびの子東通線について、拡幅されているがまだのところがある。エプソンへの通勤車で交通量が多く、小中学生の通学路であり、大変危険。

答 広丘東通線は450m終了している。北へ75m、6千万円の工事が、農閑期に今後予定。東通線、角前工業団地で止まっている。丘中の通学路は拡

幅が決まっている。**問** 東通線の延長であり、吉田小学校の通学路、拡幅されたセブンイレブン前に信号機の設置を。

答 信号機の設置は警察が行うが、市からも要望を出している。PTAからももう一つの信号の要望が出ており、そちらのほうを優先で作るようだ。24年度通学路の合同安全点検を行い、危険箇所として点検されている。看板設置横断旗の設置を24年度補正予算で対応し、出来ることから順次行っている。**問** 行政との意見交換の際、(仮称)吉田西地区防災コミュニケーション施設を日常は西公民館として使っているため、公民館として充実させてほしいと言ったら、「この建物は市ものだから」と言われた。地元で使いやすい、健康増進などができるような施設にして欲しい。**答** まだいろいろ決まっていないが、完成までは建設事業部、管理運営は生涯学習部がする。西公民館としての機能と、地元の皆さんが集会所として使う機能が損なわれないような運営ができるかと聞いている。市が使い方を決めて、地元の吉田地区に指定管理となる。市内初のモデルになるようにしたい。

「各地区からの意見」



片丘

問 信州Fパワープロジェクトの運搬ルートの道路改修については、バイパスからの急カーブの改修だけでなく、その先の山麓線にはまだまだ狭いところもあるので、これで終りにならないようにしてほしい。**答** 千本原の拡幅については6月で補正を組む予定。出来るだけ地元の要望に沿った改良を加えていくという。区長会等を通じてあげて頂けたら対応していくということ。

問 国保税がまた値上げされる。年金生活者の負担が増える。他市との関係や将来に向けての案があれば教えてほしい。**答** 税率改定の答申をした。国保運営協議会で4回会議を重ね、市から提案された3案のうち1案をとった。低所得者、中所得者の負担が少ないものを選んだ。また、今回は資産割にも配慮した。市では健全化指針を策定して、健全化に努めていく。**問** 信州Fパワープロジェクトに関して、集中型木材加工の具体性は。**答** 征矢野建材だけだと資本力もない。大建工業は中国を中心に販路



片丘支所（4月25日）

を持っているのでここに乘せていく。これに関して出資して行く。責任をもってやって行かないといけないと思っっている。あくまでもこれは、市とは切り離して考えてもらいたい。**問** どちらかの事業が倒れた場合バイオマス発電だけでやっていけるのか。**答** それに関しては、業者になるけれども、バイオマス発電だけでも相当な金額になるので、やっていけると聞いている。**問** 松くい虫の木材はチップにして持ち込むと聞いたが、塩尻にはチップ工場がない。他へ持っていくかなくてはならない。そのあたりはどうか。**答** 現地でチップ化してくるので、松くい虫などの心配はいらない。